取り組み

知財ビジネスマッチング事業への参画

経営企画部 知的財産室

新たな価値創造や他者ビジネスの支援を目指し ドローンの特許を開放

毎年、多くの特許が新たに出願されている一方で、せっかく権利を取得しても活用されず眠っている特許も多数あります。実際、国内には約160万件の特許がありますが、約半数は大企業が保有したまま使われていないといわれています。そうした大企業の眠っている特許と、中小企業やベンチャー企業とをつなぎ、魅力的な商品の開発や新事業の創出につなげようというのが「知財ビジネスマッチング」事業です。

保有する特許と外部人材のアイデアや技術が組み合わさることで新たな価値創造につながる点や、社会貢献、企業価値向上の観点から、当社はこの事業に積極的に参画しています。経済産業省（近畿経済産業局）やあいち銀行、日刊工業新聞社のプラットフォームにドローンに関する特許・意匠を提供しています。当社開発のドローンは、自動車部品開発で培ったエンジン技術を活用したハイブリッド式で、電動式に比べ航続距離の圧倒的な長さが特徴です。このドローン開発で取得した制御に関する特許とデザインに関する意匠を開放特許※として公開、ドローンや空飛ぶクルマの開発・製造を検討している企業などのビジネス支援につながればと考えています。

※他者にライセンス契約などの形で開放する意思のある特許

開放特許のポイント

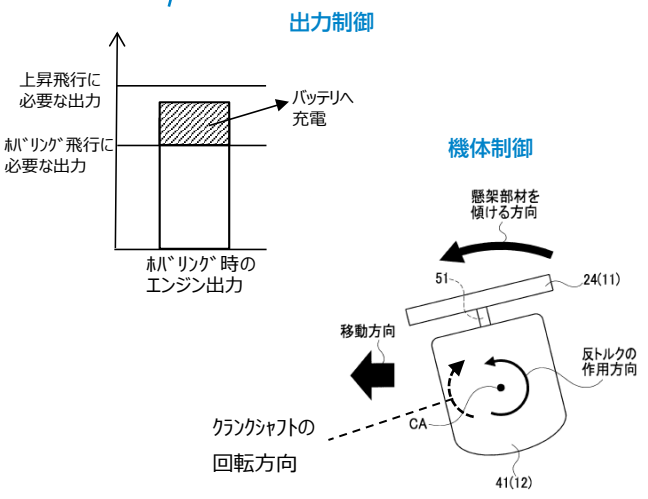
〈技術の特徴〉

ホバリング飛行時において、ホバリング飛行に必要な最低出力値よりも高く、かつ上昇飛行に必要な最低出力値よりも低い所定出力値で駆動し、余剰電力をバッテリに充電することで長時間飛行を可能にする。【出力制御】

移動飛行時において、エンジンの駆動により生じる反トルクの作用方向と、機体を傾ける方向（進行方向）を一致させることで省エネ飛行を行う。【機体制御】

01 ドローンの制御に関する特許

長時間飛行や省エネ飛行を実現する、出力制御と機体制御に関する特許です。



〈活用が見込める事例〉

エンジンとバッテリを用いたハイブリッド式の
ドローン、空飛ぶクルマ。

使用用途例

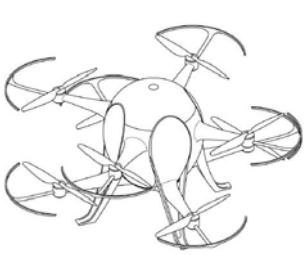
02

ドローンのデザインに関する意匠

「人々に安心とやさしさを与える」をコンセプトにした、
一般的なドローンとは一線を画した意匠が特徴です。

〈意匠の特徴〉

・卵を模した形状で柔らかさをイメージ
・卵を運ぶようにやさしく、安全に運ぶイメージ
・フレームを曲線で構成し、使う時に当たっても
怪我をしないような形状
・人が荷物を取り扱い易い高さとして人にやさしい



斜視図

斜視図（開蓋状態）

〈デザインモデルの例〉

成果（問題解決）

■ 経済産業省（近畿経済産業局）、あいち銀行、日刊工業新聞社のプラットフォームに特許・意匠を開放。

今後の展開

■ 現在提供済みのプラットフォーム以外にも本案件を開放していきたい。
■ 特許利用の申し入れがあった場合は、事業化に結び付くよう積極的に支援したい。
■ 将来的には、ドローン以外の技術も必要に応じて開放したい。